



河野知事に県観光振興計画を答申する黒木定藏県
観光審議会長（21日、県
庁）

22年度に目標額1660億円へ

5/22 県審議会が 知事に答申 持続可能な観光地域へ

県観光審議会（会長・黒木定藏西米良村長）は21日、「県観光振興計画」（2019～22年度）を河野知事に答申した。本県観光の再興に向けた指針で、3プロジェクトを柱とする基本施策に県挙げて取り組み、観光消費額を1660億円入り込み客を1610万人に増やすことなどを掲げた。県は年内での議論を経た最終案を県議会6月定例会に提案する。

基本施策の「マーケティングに基づく持続可能な観光地域づくり」では、個人旅行をターゲットに、市町村や関係機関と連携した観光戦略づくり、人材育成、メニュー開発、プロモーションを一貫して行う。プロジェクトのうち、「みやざきの強みを生か

した誘客の促進」では、人気が高まっているサイ

クルスピーツのコース開発やPRなどで誘客を強化。「スポーツランドみやざき」の進化には、東京オリンピック・パラリンピックの宿泊誘致や

この結果、最終数値目標は現況との比較で、観光消費額を109億円

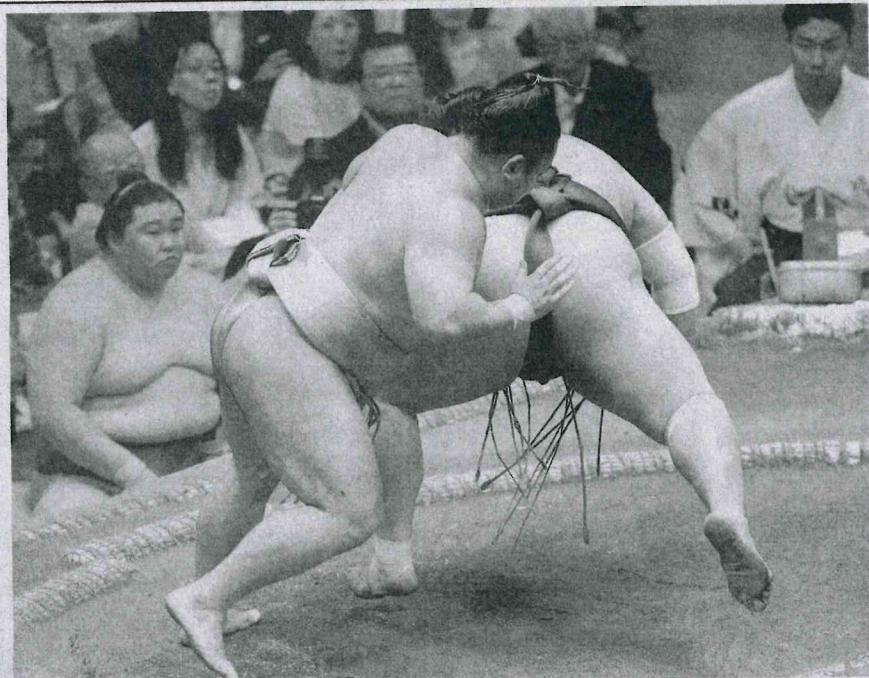
受け入れ環境の整備、サーフィンの国際大会開催などを盛り込んだ。「外国人観光客の誘致の強化・推進」では、海外マスコミを対象に東京で大規模PRイベントを開催するほか、欧州、香港、台湾向けのホームページ、クチコミサイトを開設するなどして積極的に情報発信する。

黒木会長は「地域の魅力づくりとそれに携わる人材の育成には特に力を入れてほしい」と要望し、河野知事は「まだ伸びしろだらけ。ラグビーワールドカップ、東京オリンピック、国文祭などスポーツや文化のチャンスをしっかりと将来につなげたい」と応じた。

相撲 琴恵光 念願の勝ち越し

5/22

延岡後援会 花火70発で祝福



大相撲夏場所10日目、阿武咲(右)を引き落として破る琴恵光=21日、東京・両国国技館



勝ち越しを祝うために集まったファンや後援会関係者(21日)



歴史的な勝ち越しを祝って大きな花火が打ち上げられた

大相撲五月場所(東京・両国国技館)は10日目の21日、琴恵光は阿武咲と対戦、引き落として破った。念願の8勝目を挙げた。本場出身幕内力士の勝ち越しは1984年初場所の金城以来、35年ぶり。琴恵光が幕内で勝ち越したのは通算4場所目で初め。出身地の延岡市内は大いに沸き、午後8時は須崎町の公園から勝ち越しを祝い、70発もの花火が打ち上げられた。

琴恵光は9日目まで7勝2敗、勝ち越しを懸けた相手はやや分の悪い阿武咲。立ち合い、阿武咲の突きに後退したが、タイミングよく右に動いて引き落として勝利。早々、「立ち合いで庄倒されな

に勝ち越しを決めた。「落ち置いて取れた。」と琴恵光。17ヶ所、138点。体は大きないが、今場所は下半身が安定、

くなった」と手応えを感じているという。今年は2場所続けて7勝8敗に終り、「その悔しい気持ちを強く持つて土俵に上がっていた」。目

に切り替えた」と気持ちを取り組むといふ。少なくとも引き締めた。少なからずもどう勝を乗せできることに「まだ取組があるので切り替えた」と気持ちを取り組むといふ。

琴恵光の実家、山下町の「ちゃんこ松恵」(左)。琴恵光の中継時間から後援会関係者やファンが駆け付けた。固唾をのんで大一番を見守り、念願の8勝目に大歓声が湧き起

こった。この日、店は休みだつたが、勝ち越しを決めた。琴恵光も小兵だが、自分よりも小さい相手をどう対処するかという研究が奏功している。さらに

【稲田義美琴恵光延岡後援会会長】
琴恵光も小兵だが、自ら立ち合いで勝つ行

く集中して土俵に臨んでもらえば」。父の正倫さんは「前日までの様子なら、阿武咲とも立ち合いで勝てると思つてました。相撲が

【甲斐泰文同副会長】
琴恵光も小兵だが、自分が勝てないよう、下か

て佐渡ヶ嶽親方の言う『良い相撲』が取れていません。良い方向に進んでいく。後半は大型力士との取組が増えるが、上手を取らせないように、下か

【岩切隆徳同事務局長】
琴恵光の10勝目指

りに、一氣に押し込むうと前に出てる。阿武咲の圧力を二度、阿武咲のことをかけ止めながら、右にめかみ辺りを張つてから体をまわして、はたとての立ち合い。もう差しに阿武咲はぱたり。幕内なりかたが、阿武咲は通算4場所目で初めての左、右で琴恵光の顔を張り勝ち越しを決めた。

琴恵光は阿武咲と対戦、引き落として破った。念願の8勝目を挙げた。本場出身幕内力士の勝ち越しは1984年初場所の金城以来、35年ぶり。琴恵光が幕内で勝ち越したのは通算4場所目で初め。出身地の延岡市内は大いに沸き、午後8時は須崎町の公園から勝ち越しを祝い、70発もの花火が打ち上げられた。

琴恵光は阿武咲と対戦、引き落として破った。念願の8勝目を挙げた。本場出身幕内力士の勝ち越しは1984年初場所の金城以来、35年ぶり。琴恵光が幕内で勝ち越したのは通算4場所目で初め。出身地の延岡市内は大いに沸き、午後8時は須崎町の公園から勝ち越しを祝い、70発もの花火が打ち上げられた。

琴恵光の実家、山下町の「ちゃんこ松恵」(左)。琴恵光の中継時間から後援会関係者やファンが駆け付けた。固唾をのんで大一番を見守り、念願の8勝目に大歓声が湧き起

こった。この日、店は休みだつたが、勝ち越しを決めた。琴恵光も小兵だが、自分よりも小さい相手をどう対処するかという研究が奏功している。さらに

【稲田義美琴恵光延岡後援会会長】
琴恵光も小兵だが、自ら立ち合いで勝つ行

く集中して土俵に臨んでもらえば」。父の正倫さんは「前日までの様子なら、阿武咲とも立ち合いで勝てると思つてました。相撲が

【甲斐泰文同副会長】
琴恵光も小兵だが、自分が勝てないよう、下か

て佐渡ヶ嶽親方の言う『良い相撲』が取れていません。良い方向に進んでいく。後半は大型力士との取組が増えるが、上手を取らせないように、下か

【岩切隆徳同事務局長】
琴恵光の10勝目指

りに、一氣に押し込むうと前に出てる。阿武咲の圧力を二度、阿武咲のことをかけ止めながら、右にめかみ辺りを張つてから体をまわして、はたとての立ち合い。もう差しに阿武咲はぱたり。幕内なりかたが、阿武咲は通算4場所目で初めての左、右で琴恵光の顔を張り勝ち越しを決めた。

●琴恵光(ひとき)阿武咲
○大相撲5月場所 10日目
あす(11日目)の取組 千代丸
8勝2敗

悲願の10勝へ、応援を

舞つて一緒に勝利祝つた。

琴恵光 阿武咲

り、一気に押し込むうと前に出てる。阿武咲の圧力を二度、阿武咲のことをかけ止めながら、右にめかみ辺りを張つてから体をまわして、はたとての立ち合い。もう差しに阿武咲はぱたり。幕内なりかたが、阿武咲は通算4場所目で初めての左、右で琴恵光の顔を張り勝ち越しを決めた。

テレビのニュースで琴恵光の活躍が報じられ、録画で取組が繰り返して観られる。ただびに祝福の声が上がった。母の多美さんは「今場所は体の動きがすごくいい。負けてもそれが続かない。表情や取組から祝福の声が上がった。阿武咲はばったり。幕内なりかたが、阿武咲は通算4場所目で初めての左、右で琴恵光の顔を張り勝ち越しを決めた。

琴恵光十五番勝負 その10

【松島山道場正代表の染矢悟さん(琴恵光の愛弟子)】
念願の幕内で勝ち越しを決めて嬉しいです。今まで勝ち越しを決めていたことで、残る一番は伸び伸びとした相撲で勝ち量を重ねられるのでは。

【柏谷邦治さんの愛弟子】
念願の幕内で勝ち越しを決めて嬉しいです。うれしいですね。先場所は立ち合いで相撲の姿勢は心配でした。千秋楽まで頑張りました。応援してください。27歳の若者がそんな気持ちでやっていることを誇りたいと思います。

【甲斐泰文同副会長】
琴恵光の10勝目指

りに、一気に押し込むうと前に出てる。阿武咲の圧力を二度、阿武咲のことをかけ止めながら、右にめかみ辺りを張つてから体をまわして、はたとての立ち合い。もう差しに阿武咲はぱたり。幕内なりかたが、阿武咲は通算4場所目で初めての左、右で琴恵光の顔を張り勝ち越しを決めた。